

Q&A 受験ガイド

2026年度

バイオサイエンス学科

動物学科

海洋生物学科

森林学科

環境学科

アグリサイエンス学科

食品開発学科

食品ビジネス学科

国際共生学科

獣医保健看護学科

獣医学科

日本大学生物資源科学部

NIHON UNIVERSITY College of Bioresource Sciences

Q&A

昨年度の選抜方法から、 以下の点が変わります。

※付属高等学校及び提携校等における変更内容については記載していません。

- ① 一般選抜 …… 試験会場の変更 ② 総合型選抜 …… 学科により選考日程の変更

選抜について

Q 一般選抜の採点方法について、標準化得点とありますが詳しく教えてください。

A 一般選抜では、標準化得点を用いて合否を決定しています。標準化得点とは、個々の受験生の素点と全体の平均点との差を、標準偏差を単位として表したものです。この方法は、それぞれの受験生の科目の平均点を50になるように補正し、科目間における問題の難易度を調整するものです。

Q 一般選抜における追加合格候補者について教えてください。

A 追加合格候補者は入学者に欠員が生じた場合に追加で合格者となりますので入学予定者の状況によっては合格になりません。

Q 一般選抜（A個別方式）で、収容人数の関係上、他試験場での受験になる場合があると記載がありますが、詳しく教えてください。

A 各試験場（湘南を除く）ごとに設定された収容人員を超えた場合は、他試験場での受験となります。なお、湘南試験場は生物資源科学部の校舎です。

Q 一般選抜の過去問の配布や販売はされないのでしょうか。

A 日本大学生物資源科学部では過去問の配布、販売はしていません。過去問の販売については、各書店等にお問い合わせください。また、閲覧についてはオープンキャンパス、進学相談会、生物資源科学部入学センターで対応しています。

※学部行事等により入構を制限している場合がありますので、来校前にHP、電話等で状況を確認してください。

Q 学校推薦型選抜で実施されている確認テストについて教えてください。

A 確認テストの対象教科は志望学科によって異なります。獣医学科の場合は、国語、数学、英語の3教科、それ以外の学科を志望する方は、3教科から2教科を選択する方式（試験時間：60分）で行います。出題範囲については「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」、「数学I・数学II・数学A(図形の性質、場合の数と確率)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)」、「英語コミュニケーションI、英語コミュニケーションII、英語コミュニケーションIII、論理・表現I、論理・表現II、論理・表現III」です。高等学校の授業を理解していれば十分に対応できるレベルのテストです。

Q 学校推薦型選抜等での面接について教えてください。

A 面接は受験生1名につき面接担当者3名で、志望理由や将来の夢など様々な質問を行います。面接時間は10～15分程度です。

Q 各試験室には時計がないと聞いたのですが本当ですか。

A 試験室には時計がありませんので、必ず時計を持参するようにしてください。ただし、計算機能等の付いた時計や携帯電話等を時計代わりにすることはできません。

Q 個別で進学相談ができる日はありますか？

A 生物資源科学部には入学センターがあり、学部行事等の状況によりますが、キャンパス見学や進学相談を行っています。ご希望の場合は、入学センターまでお問い合わせください。

【入学センター】

【開室時間】 月～金曜日 9:00～17:00

土曜日 9:00～13:00

【電話】 0466-84-3812 (直通)

Q 文系科目だけで受験できる学科はありますか。

A 「食品ビジネス学科」と「国際共生学科」が該当します。上記2学科は文系科目だけで受験できます。

学びについて

Q 動物についてはどの学科で学べますか？

A 「動物学科」、「獣医学科」、「獣医保健看護学科」、「アグリサイエンス学科」などで学べます。純粋に動物の生理機能や生態、進化などについて学びたいのなら「動物学科」、動物の病気を治したり、健康を守ったりする仕事をしたいなら「獣医学科」や「獣医保健看護学科」、畜産に興味があるのなら「アグリサイエンス学科（動物性食資源分野）」などをご検討ください。

Q 植物についてはどの学科で学べますか？

A 「アグリサイエンス学科」、「森林学科」、「バイオサイエンス学科」などで学べます。作物や果樹に興味があり、食料生産に関わる仕事をしたいなら「アグリサイエンス学科（植物性食資源分野）」、花の栽培や品種改良、装飾などに興味があるなら「アグリサイエンス学科（フラワーサイエンス分野）」、植物の生理機能や生態を科学的に解明したいなら「バイオサイエンス学科（微生物・植物コース）」、森林の植物や樹木、きのこなどに興味があるなら「森林学科」などをご検討ください。

Q 「食品開発学科」と「食品ビジネス学科」の違いは？

A 食品の開発や製造について学ぶか、食品の流通や食文化について学ぶかの違いです。「食品開発学科」では、新しい食品の開発や加工・製造などに関する理論や、技術・スキルを学びます。そのため化学など理系科目の比重が大きくなっています。「食品ビジネス学科」では、食品産業や流通、消費、食文化などを学びます。そのため政治・経済、マーケティングなど文系科目の比重が大きくなっています。

Q 「環境学科」の環境とは何を意味しているのですか？

A 地球環境、自然環境、都市環境の3つを研究分野としています。地球環境とは、気象や地球温暖化など地球全体の環境。自然環境とは、生物が棲息する水や土壌、大気などの身近な環境。都市環境とは、私たちが暮らす街や都市、社会基盤を指します。それぞれの環境で起こっている問題を解決します。

Q 「国際共生学科」は、海外実習や研修が必須なのでしょうか。

A 推奨しますが、必須ではありません。「国際共生学科」では、国内にいながらグローバルに活躍できる人材を育成することも重視しています。国内に住む外国人が増加し多文化社会が形成されたり、日本から海外へ向けて情報を発信する機会が増えるなど、国内にいながらグローバル化に対応する能力が、今後ますます必要となってきます。そのため、国内におけるフィールドワークや課題解決型プロジェクトなども海外実習や研修同様に重視します。

その他

Q 興味深い学科が複数あって迷っています。

A 学科を超えた学びも可能です。本学部は全学科がワンキャンパスに集約されているので、自分の学科以外の講義も簡単に受講することができます。他学科の講義を単位として認める制度もあります。

Q 愛玩動物看護師とは何をやる仕事ですか？

A 動物の健康や福祉を守る、獣医師の強力なパートナーです。愛玩動物看護師は、獣医師と協力しペットの健康を守る新しい国家資格です。具体的には動物病院などで、獣医師の診療の補助や動物の看護、ペットの飼い主へ適正な飼養に関する助言などを行います。

一般選抜A個別方式概要 第1期

1 A個別方式第1期:募集人員・日程・試験場

学 科	募集人員	出願締切日	試験日	合格発表日時	入学手続締切日
バイオサイエンス学科 動物学科 海洋生物学科 森林学科 環境学科 アグリサイエンス学科 食品開発学科 食品ビジネス学科 国際共生学科 獣医保健看護学科 獣医学科	60名 40名 50名 35名 40名 39名 45名 42名 42名 27名 51名	令和8年 1月23日(金) (必着) 【郵送でのみ受付】	令和8年 2月2日(月)	令和8年 2月10日(火) 13:00~ ※インターネットによる 合否案内	令和8年 2月17日(火)

(試験場) 下記の都市で実施予定。試験場の詳細は一般選抜募集要項で確認してください。

仙台／水戸／宇都宮／高崎／新潟／静岡／名古屋／大阪／福岡／東京／湘南

※ 試験場の都市は変更になる場合があります。改めて出願時に確認してください。

※ 試験場は出願時に、各自の希望により選択できます。ただし、選択時に収容人数が既に超過の場合は他試験場での受験となります。

2 入学検定料 35,000円

3 試験教科・科目 (3教科3科目 合計300点)

学 科	教 科	科 目	選択方法
バイオサイエンス学科 動物学科 海洋生物学科 森林学科 環境学科 アグリサイエンス学科 食品開発学科 獣医保健看護学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	必須
	国 語 数 学	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」 「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」	1教科選択
	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」	1科目選択
食品ビジネス学科 国際共生学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	必須
	国 語 数 学 理 科	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」 「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」	2教科2科目選択 (「地理歴史」, 「公民」間の 組合わせは不可)
	地理歴史 及び公民	「歴史総合・日本史探究」, 「歴史総合・世界史探究」, 「地理総合・地理探究」, 「公共, 政治・経済」	
獣医学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	必須
	数 学	「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」	必須
	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」	1科目選択

4 科目別時間割・配点

時 間 割	11:00~12:00	13:00~15:00
科 目 (配点)	外国語(100点)	選択2科目(各100点 合計200点)

※ 各科目の標準化得点の合計得点で合否を判定します。

5 変更点 試験会場の変更

一般選抜A個別方式概要 第2期

1 A個別方式第2期:募集人員・日程・試験場

学 科	募集人員	出願締切日	試験日	合格発表日時	入学手続締切日
バイオサイエンス学科 動物学科 海洋生物学科 森林学科 環境学科 アグリサイエンス学科 食品開発学科 食品ビジネス学科 国際共生学科 獣医保健看護学科 獣医学科	17名 13名 13名 9名 10名 10名 13名 11名 11名 7名 10名	令和8年 2月13日(金) (必着) 【郵送でのみ受付】	令和8年 2月20日(金)	令和8年 3月2日(月) 13:00~ ※インターネットによる 合否案内	令和8年 3月11日(水)

(試験場) 下記の都市で実施予定。試験場の詳細は一般選抜募集要項で確認してください。

名古屋／大阪／東京／湘南

※ 試験場の都市は変更になる場合があります。改めて出願時に確認してください。

※ 試験場は出願時に、各自の希望により選択できます。ただし、選択時に収容人数が既に超過の場合は他試験場での受験となります。

2 入学検定料 35,000円

3 試験教科・科目 (3教科3科目 合計300点)

学 科	教 科	科 目	選択方法
バイオサイエンス学科 動物学科 海洋生物学科 森林学科 環境学科 アグリサイエンス学科 食品開発学科 獣医保健看護学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	必須
	国 語 数 学	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」 「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」	1教科選択
	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」	1科目選択
食品ビジネス学科 国際共生学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	必須
	国 語 数 学 理 科 地理歴史 及び公民	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」 「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」 「歴史総合・日本史探究」, 「歴史総合・世界史探究」, 「地理総合・地理探究」, 「公共, 政治・経済」	2教科2科目選択 (「地理歴史」, 「公民」間の 組合わせは不可)
獣医学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	必須
	数 学	「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」	必須
	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」	1科目選択

4 科目別時間割・配点

時 間 割	11:00~12:00	13:00~15:00
科目(配点)	外国語(100点)	選択2科目(各100点 合計200点)

※ 各科目の標準化得点の合計得点で合否を判定します。

一般選抜N全学統一方式概要 第1期

1 N全学統一方式第1期:募集人員・日程

学 科	募集人員	出願締切日	試験日	合格発表日時	入学手続締切日
バイオサイエンス学科 動物学科 海洋生物学科 森林学科 環境学科 アグリサイエンス学科 食品開発学科 食品ビジネス学科 国際共生学科 獣医保健看護学科 獣医学科	8名 5名 6名 5名 5名 5名 6名 6名 6名 3名 5名	令和8年 1月22日(木) (必着) 【郵送でのみ受付】	令和8年 2月1日(日)	令和8年 2月10日(火) 13:00~ ※インターネットによる 合否案内	令和8年 2月17日(火)

※ 出願期間、出願方法、試験場の詳細は一般選抜募集要項でご確認ください。

2 入学検定料 18,000円

3 試験教科・科目 (3教科3科目 合計300点)

学 科	教 科	科 目	選択方法
バイオサイエンス学科 動物学科 海洋生物学科 森林学科 環境学科 アグリサイエンス学科 食品開発学科 食品ビジネス学科 獣医保健看護学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	必須
	国 語 数学① 数学②	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」 「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」 「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)」	1教科1科目選択
	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」	1科目選択
食品ビジネス学科 国際共生学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	必須
	国 語 数学① 理 科 地理歴史 公 民	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」 「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」 「歴史総合・日本史探究」, 「歴史総合・世界史探究」, 「地理総合・地理探究」 「公共, 政治・経済」	2教科2科目選択※
獣医学科	外国語	「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」	必須
	数学① 数学②	「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」 「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)」	数学①または② どちらかを選択
	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」	1科目選択

※ 「数学①」、「地理歴史」、「公民」は同一時間割のため、組み合わせ不可。

- 上記の選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の教科・科目を合否判定に使用します。
- 医学部を併願していて、「理科」を合否判定に使用する場合は、第1解答科目のみを合否判定に使用します。
- 上記の科目を標準化得点に換算し、合否判定します。

4 科目別時間割・配点

時 間 割	1科目受験者 10:40~11:40 2科目受験者 09:30~11:40	12:50~13:50	14:40~15:40	16:30~17:30
科目(配点)	理科(100点)	外国語(100点)	国語 (100点) 数学②(100点)	数学① (100点) 地理歴史(100点) 公民 (100点)

一般選抜N全学統一方式概要 第2期

1 N全学統一方式第2期:募集人員・日程

学 科	募集人員	出願締切日	試験日	合格発表日時	入学手続締切日
バイオサイエンス学科 動物学科 海洋生物学科 森林学科 環境学科 アグリサイエンス学科 食品開発学科 食品ビジネス学科 国際共生学科 獣医保健看護学科 獣医学科	7名 5名 5名 5名 5名 5名 5名 5名 5名 2名 3名	令和8年 2月25日(水) (必着) 【郵送でのみ受付】	令和8年 3月4日(水)	令和8年 3月13日(金) 13:00~ ※インターネットによる 合否案内	令和8年 3月18日(水)

※ 出願期間、出願方法、試験場の詳細は一般選抜募集要項でご確認ください。

2 入学検定料 18,000円

3 試験教科・科目 (2教科2科目 合計200点、獣医学科は3教科3科目 合計300点)

学 科	教 科	科 目	選択方法
バイオサイエンス学科 動物学科 海洋生物学科 森林学科 環境学科 アグリサイエンス学科 食品開発学科 獣医保健看護学科	外国語	「英語コミュニケーションI, 英語コミュニケーションII, 英語コミュニケーションIII, 論理・表現I, 論理・表現II, 論理・表現III」	必須
	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」	1科目選択
食品ビジネス学科 国際共生学科	外国語	「英語コミュニケーションI, 英語コミュニケーションII, 英語コミュニケーションIII, 論理・表現I, 論理・表現II, 論理・表現III」	必須
	国 語 数学① 理 科 地理歴史 公 民	「現代の国語・言語文化(漢文を除く)」 「数学I, 数学II, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」 「歴史総合・日本史探究」, 「歴史総合・世界史探究」, 「地理総合・地理探究」 「公共・政治・経済」	1教科選択
	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」	1科目選択
獣医学科	外国語	「英語コミュニケーションI, 英語コミュニケーションII, 英語コミュニケーションIII, 論理・表現I, 論理・表現II, 論理・表現III」	必須
	数学① 数学②	「数学I, 数学II, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル)」 「数学I, 数学II, 数学III, 数学A(図形の性質, 場合の数と確率), 数学B(数列), 数学C(ベクトル, 平面上の曲線と複素数平面)」	数学①または② どちらかを選択
	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」	1科目選択

- 上記の選択科目を指定科目数以上受験した場合は、高得点の教科・科目を合否判定に使用します。
- 医学部を併願していて、「理科」を合否判定に使用する場合は、第1解答科目のみを合否判定に使用します。
- 上記の科目を標準化得点に換算し、合否判定します。

4 科目別時間割・配点

時 間 割	1科目受験者 10:40~11:40 2科目受験者 09:30~11:40	12:50~13:50	14:40~15:40	16:30~17:30
科目(配点)	理科(100点)	外国語(100点)	国語 (100点) 数学②(100点)	数学① (100点) 地理歴史(100点) 公民 (100点)

総合型選抜概要

1 募集人員

バイオサイエンス学科 15名／動物学科 10名／海洋生物学科 10名／森林学科 8名／環境学科 8名／アグリサイエンス学科 10名／食品開発学科 10名／食品ビジネス学科 10名／国際共生学科 10名／獣医保健看護学科 5名

2 出願資格

高等学校または中等教育学校等を卒業した者あるいは令和8年3月卒業見込みの者、またはそれと同等以上の学力があると認められる者(学校教育法施行規則第150条)

3 出願要件

次の要件をすべて満たす者

- (1) 本学部・学科のアドミッション・ポリシー及び教育・研究内容を十分理解し、意欲的に学修を継続できる者
- (2) 本学部(学科)を第一志望とし、合格した場合は本学部(学科)に入学することを確約できる者

アドミッション・
ポリシーはこちらから
ご確認ください



デバイスによって読み取れない場合があります

4 出願期間

令和7年9月22日(月)～9月26日(金) 郵送必着

◎1次選考

- ① 選考方法 書類選考
- ② 出願書類
※8月2日(土)以降必要書類を本学部ホームページからダウンロードしてください。
 - (1) 出願確認票(web上で出願登録し、プリントアウトしたもの)
 - (2) 志望理由書(本学部所定の用紙)
 - (3) 小論文課題
 - (4) 出身学校調査書
- ③ 入学検定料 35,000円
- ④ 1次選考合格発表日 令和7年10月15日(水)に郵送にて発送します

◎2次選考

注：学科により選考日程が異なります。

バイオサイエンス学科／海洋生物学科／森林学科／環境学科／アグリサイエンス学科／食品ビジネス学科／国際共生学科

- ① 選考日
令和7年11月1日(土)
- ② 選考方法
各学科内容に関連する実験・実習・演習(1次選考に関する内容)とそれらに関連する発表、口述試問
※学科により課される内容は異なります。

動物学科／食品開発学科／獣医保健看護学科

- ① 選考日
令和7年11月1日(土)及び2日(日)《2日間参加のこと》
- ② 選考方法
〈1日目〉各学科内容に関連する実験・実習・演習(1次選考に関する内容)
〈2日目〉実験・実習・演習に関連する発表、口述試問
※学科により課される内容は異なります。

5 合格発表日

令和7年11月10日(月)13時
インターネットによる合否案内

6 入学手続締切日

令和7年11月21日(金)

7 昨年度 1次選考課題【参考】

昨年の小論文の課題です。右ページをご覧ください。

参考

バイオサイエンス学科

私達の豊かな生活を持続的に発展させるためには、バイオサイエンスを活用したどのような技術が必要であるのかを自ら考えて具体的に述べなさい。またその技術を実現するためには、本学科でどのような知識や実験技術を身につけるべきであるのかについても述べなさい。

動物学科

哺乳類の骨格の特徴を他の脊椎動物と比較して論じなさい。

海洋生物学科

地球の温暖化がわれわれの生活に影響を及ぼすことが指摘されて久しいが、近年その影響がわれわれの目に見える様々な形で表れている。海洋環境の変化とその影響について、下記の問について調べ、それぞれ400字程度で記述しなさい。なお、記述した内容の根拠(参考にした書籍やサイト名等)も、採点者が情報を確認できるように示すこと。

【問1】

過去100年における日本近海の海域平均海面水温(年平均)の上昇率は、世界全体での平均海面水温の上昇率や北太平洋のそれよりも大きいことが報告されている。日本近海の平均海面水温の上昇率について調べ、その特徴を数値を提示して説明しなさい。

【問2】

近年、平均海面水温の上昇を含む気候変動の漁業への影響が顕在化している。その具体例について述べるとともに、どのような対策が求められるようになるのか、あなたの考えを説明しなさい。

【問3】

海水温の上昇はすでに起きてしまった事象であるため、今後、われわれは新たな環境への適応を求められる。食料生産システムを維持していく上で、海面養殖業に求められる対策は何か。養殖現場での問題点を挙げ、その対応策について説明しなさい。

【問4】

気候変動による生物分布への影響は、様々なかたちで生じる。食品衛生の観点からは、海産物の喫食によって予期せぬ食中毒が引き起こされる可能性が指摘されている。今後起こり得る海産物による食中毒について、どのような理由で発生すると考えられるのか、根拠を示して説明しなさい。

森林学科

森林の生物多様性に関して、以下の3点について自分の考えを述べよ。

1. 世界の森林の生物多様性の現状
2. 日本の森林における生物多様性が失われてきた経緯
3. 日本の森林における生物多様性保全のためにどのような施策をすべきか

「森林における生物多様性の保全及び持続可能な利用の推進方策」
https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/tayousei/attach/pdf/top-1.pdf

環境学科

水環境は人や生き物と密接に関係しています。そうした観点から、現在の水環境問題をひとつあげ、その原因と対策について、あなたの考えを述べなさい。

アグリサイエンス学科

下の表は、「日本の総人口、基幹的農業従事者(ふだん仕事として主に自営農業に従事している者)数とその年齢ならびに田畑面積の推移」を示している。このような日本の農業実態を示す関連データを、他にも自由に調べ、それら全体から読み取れることを論じなさい。さらに、そのようなデータに示される状況下で、これからの日本の農業をどのように展開するべきか、あなたの考えを述べなさい。なお使用できるデータは、官公庁が公表したのみとし、出典を明らかにして小論文内に示すか添付すること。

〈表〉日本の総人口、基幹的農業従事者数およびその年齢ならびに田畑面積の推移

	2015年	2020年	2021年	2022年	2023年
総人口	127,095	126,146	125,502	124,947	124,352
基幹的農業従事者	1,757	1,363	1,302	1,226	1,164
うち65歳以上	1,140	949	905	860	823
平均年齢	67.1	67.8	67.9	68.4	68.7
田畑面積	4,496	4,372	4,349	4,325	4,297

単位:
人口は千人、
年齢は歳、
面積は千ha
総務省統計局、農林水産省統計部の資料を基に作成

食品開発学科

穀物、野菜、果物、肉、魚、乳、プロバイオティクスなどの食物原料はいずれも生物であるため、デオキシリボ核酸(DNA)は食品原料にも普遍的に存在する。これらはPolymerase Chain Reaction(PCR)などの手法を用いて解析され、以下のように利用される。

- a) DNA配列を解析し、食品原料の種類や性質を特定する。
- b) DNAに符号化された生理活性物質や栄養素の発現を定量する。
- c) 遺伝子組換え食品(GMO)はDNAを組み替えた生物であるので、GMOの検出にはDNA解析が利用される。
- d) 食品中の病原菌やウイルスの検出にもDNA解析が利用される。

そこで上記利用例を参考に、あなたが着目するDNA解析を用いた食品への実用例を一つ挙げ、1)その実用例を選択した理由とその詳しい内容、2)現状での問題点について説明し、3)未来の食品開発への可能性について考察したことを述べなさい。

食品ビジネス学科

近年課題となっている「食品へのアクセスが困難」な状況について、事例を挙げ、その対策についてのあなたの提言をまとめてください。

国際共生学科

現在の日本の社会や経済・産業状況と日本を取り巻く環境の変化をふまえ、これからの日本の新しい持続的な産業構造と多様な人々の共生について考えるとき、あなたはどのようなアイデアを持っていますか? またどのような社会的課題を感じますか? 本学科の3つの学びの分野(グローバルビジネス/文化・社会環境/情報・コミュニケーション)のいずれかの観点から論じてください。

獣医保健看護学科

あなたの居住地域外で地震による大規模災害が発生し、あなたは現地へ赴きボランティア活動を行おうとしています。災害時には様々な問題や課題が明るみに出ることから、これまでの事例に倣った準備が必要です。例えば、今年1月に発生した能登半島地震では、災害時におけるペットの取扱いが課題となっています。そこで、同様な課題に対処するための現地でのあなたの行動計画を、下記の2点に留意して具体的に書きなさい。

- ① あなたは獣医保健看護学を学んでいる大学生であると想定する。
- ② あなたの強みを盛り込み、今までボランティア活動等の経験があれば紹介する。

学校推薦型選抜概要 指定校制

1 募集人員

バイオサイエンス学科 14名／動物学科 9名／海洋生物学科 9名／森林学科 5名／環境学科 5名／アグリサイエンス学科 7名／食品開発学科 9名／食品ビジネス学科 9名／国際共生学科 9名／獣医保健看護学科 6名／獣医学科 5名

2 出願要件

次の要件をすべて満たす者

- (1) 学科ごとに指定された高等学校(中等教育学校(後期課程を含む))の全日制普通科、農業科、水産科、総合学科またはこれらに準ずる学科を令和8年3月卒業見込みの者
- (2) 各指定学校内の推薦条件を満たし、全体の学習成績の状況が3.5以上の者
- (3) 人物・学業ともに優秀で出身学校長の推薦を受けることのできる者
- (4) 本学部(学科)を第一志望とし、合格した場合は本学部(学科)に入学することを確約できる者

3 選考方法

書類選考、確認テスト及び面接により総合的に判定します。

※ 確認テストについては、P3を参照してください。

4 出願手続

- ① 出願書類
 - (1) 出身学校長の推薦書(本学部所定の用紙)
 - (2) 出願確認票(web上で出願登録し、プリントアウトしたもの)
 - (3) 推薦入学志望理由書(本学部所定の用紙)
 - (4) 出身学校調査書(1年間の欠席日数が10日以上の場合は、出身学校からの理由書も同封してください(書式自由))
- ② 入学検定料 35,000円

5 出願期間

令和7年11月1日(土)～11月4日(火) 郵送必着

6 試験日

令和7年11月22日(土)

7 試験場

生物資源科学部校舎

8 選考結果

令和7年12月1日(月)13時
インターネットによる合否案内

9 入学手続締切日

令和7年12月12日(金)までに入学時納入金の振込を完了してください。

学校推薦型選抜概要 公募制

1 募集人員

バイオサイエンス学科 10名／動物学科 7名／海洋生物学科 7名／森林学科 4名／環境学科 4名／アグリサイエンス学科 5名／食品開発学科 7名／食品ビジネス学科 7名／国際共生学科 7名／獣医保健看護学科 4名／獣医学科 13名

2 出願要件

次の要件をすべて満たす者(日本大学の付属高等学校等の在在生を除く)

- (1) 高等学校(中等教育学校(後期課程を含む))または文部科学省が認定する在外教育施設※を令和8年3月卒業見込みの者または令和7年3月卒業の者
- (2) 人物・学業ともに優秀で出身学校長の推薦を受けることのできる者
- (3) 本学部(学科)を第一志望とし、合格した場合は本学部(学科)に入学することを確約できる者

※ 在外教育施設の場合は令和7年3月から令和8年3月までに卒業または卒業見込みの者

3 選考方法

書類選考、確認テスト及び面接により総合的に判定します。

※ 確認テストについては、P3を参照してください。

4 出願手続

- ① 出願書類
 - (1) 出身学校長の推薦書(本学部所定の用紙)
 - (2) 出願確認票(web上で出願登録し、プリントアウトしたもの)
 - (3) 推薦入学志望理由書(本学部所定の用紙)
 - (4) 出身学校調査書(1年間の欠席日数が10日以上の場合は、出身学校からの理由書も同封してください〈書式自由〉)
- ② 入学検定料 35,000円

5 出願期間

令和7年11月5日(水)～11月12日(水) 郵送必着

6 試験日

令和7年11月22日(土)

7 試験場

生物資源科学部校舎

8 選考結果

令和7年12月1日(月)13時
インターネットによる合否案内

9 入学手続締切日

令和7年12月12日(金)までに入学時納入金の振込を完了してください。

日本大学校友枠選抜概要

1 募集人員

全学科 若干名

2 出願要件

次の要件をすべて満たす者

- ① 高等学校(中等教育学校(後期課程を含む))または文部科学省が認定する在外教育施設*を令和8年3月卒業見込みの者または令和7年3月卒業の者。ただし、獣医学科への出願は、父母または祖父母のいずれかが本学部獣医学科の卒業生で獣医師の資格を有する者。
- ② 次の(1)～(4)のいずれかに該当する校友の子または孫(法定血族を含む2親等内直系血族である者。ただし、法定血族の場合は、大学入学年度の3年前の4月1日以前に養子縁組をしていること)である者
 - (1) 学校法人日本大学寄附行為施行規則第11条第6項に定める「この法人の設置する学校」を卒業または修了した者

【学校法人日本大学が設置する学校】●日本法律学校 ●高等工学校及び工業専門学校 ●東洋歯科医学校及び歯科医学校 ●東京獣医学校 ●専門学校令による専門学校、専門部、高等師範部、高等専攻科及び師範専修科 ●東京高等獣医学校及び東京獣医畜産専門学校 ●専門学校令による大学 ●大学令による大学及び予科、大学院及び選科 ●学校教育法(新学制)による大学、大学院及び短期大学

- (2) 学校法人日本大学が設置する学校に勤務を有する専任教職員または専任教職員であった者
 - (3) 学校法人日本大学の役員または役員であった者
 - (4) 学校法人日本大学の特別付属・準付属校を設置する法人に勤務を有する専任教職員または専任教職員であった者
ただし、特別付属・準付属校を設置する法人は、令和7年4月1日現在のものとする。
- ③ 本学部(学科)を第一志望とし、合格した場合は本学部(学科)に入学することを確約できる者
※ 在外教育施設の場合は令和7年3月から令和8年3月までに卒業または卒業見込みの者

3 選考方法

書類選考、確認テスト及び面接により総合的に判定します。 ※ 確認テストについては、P3を参照してください。

4 出願手続

- ① 出願書類
 - (1) 出願確認票(web上で出願登録しプリントアウトしたもの)
 - (2) 出願資格確認書
校友枠選抜を受験するには、出願前に日本大学の校友の子又は孫であることの確認が必要となります。事前に「校友枠選抜概要」を入手したうえで、校友会本部事務局に10月29日(水)までに「出願資格確認書」の発行を申請してください。
 - (3) 校友枠選抜志望理由書(本学部所定の用紙)
 - (4) 出身学校調査書(1年間の欠席日数が10日以上の場合は、高等学校からの理由書も同封してください(書式自由))
 - (5) その他
獣医学科志願者については、父母または祖父母が獣医師であることを証明できる書類(獣医師免許証のコピー等)
- ② 入学検定料 35,000円

校友枠選抜の概要はこちらから
デバイスによって読み取れない場合があります



5 出願期間

令和7年11月5日(水)～11月12日(水) 郵送必着

6 試験日、試験場

令和7年11月22日(土)、 生物資源科学部校舎

7 選考結果

令和7年12月1日(月) 13時インターネットによる合否案内

8 入学手続締切日

令和7年12月12日(金)までに入学時納入金の振込を完了してください。

令和7年度 入学者選抜データ

A個別方式

●第1期

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
バイオサイエンス学科	60	264	258	145
動物学科	40	238	233	92
海洋生物学科	50	334	326	50
森林学科	35	70	70	64
環境学科	40	114	112	103
アグリサイエンス学科	39	104	101	96
食品開発学科	45	166	160	73
食品ビジネス学科	42	91	91	42
国際共生学科	42	60	56	42
獣医保健看護学科	27	89	86	27
獣医学科	51	936	908	87
計	471	2,466	2,401	821

●第2期

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
バイオサイエンス学科	17	84	64	41
動物学科	13	97	80	26
海洋生物学科	13	137	110	13
森林学科	9	21	10	9
環境学科	10	21	14	11
アグリサイエンス学科	10	14	9	7
食品開発学科	13	65	57	20
食品ビジネス学科	11	35	28	11
国際共生学科	11	25	16	12
獣医保健看護学科	7	38	26	10
獣医学科	10	477	392	25
計	124	1,014	806	185

N全学統一方式

●第1期

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
バイオサイエンス学科	8	204	193	24
動物学科	5	191	178	21
海洋生物学科	6	150	144	6
森林学科	5	90	83	55
環境学科	5	121	111	71
アグリサイエンス学科	5	101	99	83
食品開発学科	6	157	145	42
食品ビジネス学科	6	141	134	14
国際共生学科	6	94	88	19
獣医保健看護学科	3	77	70	3
獣医学科	5	342	301	11
計	60	1,668	1,546	349

●第2期

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
バイオサイエンス学科	7	72	55	7
動物学科	5	76	62	29
海洋生物学科	5	88	70	5
森林学科	5	30	23	21
環境学科	5	52	37	22
アグリサイエンス学科	5	37	27	24
食品開発学科	5	40	29	25
食品ビジネス学科	5	52	41	16
国際共生学科	5	52	43	15
獣医保健看護学科	2	38	34	12
獣医学科	3	235	194	24
計	52	772	615	200

総合型選抜

●総合型選抜

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
バイオサイエンス学科	15	32	32	32
動物学科	10	39	38	29
海洋生物学科	10	40	40	25
森林学科	8	12	12	12
環境学科	8	10	10	10
アグリサイエンス学科	10	13	12	12
食品開発学科	10	13	13	12
食品ビジネス学科	10	28	28	26
国際共生学科	10	13	13	13
獣医保健看護学科	5	26	26	14
獣医学科	—	—	—	—
計	96	226	224	185

●日本大学校友枠選抜

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
バイオサイエンス学科		0	0	0
動物学科		2	2	2
海洋生物学科		1	1	0
森林学科		2	2	2
環境学科		0	0	0
アグリサイエンス学科	若干名	2	1	1
食品開発学科		3	3	3
食品ビジネス学科		1	1	1
国際共生学科		0	0	0
獣医保健看護学科		3	3	2
獣医学科		13	13	5
計	24	27	26	16

学校推薦型選抜

●指定校制

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
バイオサイエンス学科	14	35	35	35
動物学科	9	13	13	13
海洋生物学科	9	29	29	29
森林学科	5	16	16	16
環境学科	5	17	17	17
アグリサイエンス学科	7	26	26	26
食品開発学科	9	30	30	30
食品ビジネス学科	9	17	17	17
国際共生学科	9	16	16	16
獣医保健看護学科	6	3	3	3
獣医学科	5	4	4	4
計	87	206	206	206

●公募制

学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
バイオサイエンス学科	10	4	3	2
動物学科	7	23	22	16
海洋生物学科	7	34	34	16
森林学科	4	2	2	2
環境学科	4	5	5	5
アグリサイエンス学科	5	5	5	5
食品開発学科	7	8	8	8
食品ビジネス学科	7	7	7	7
国際共生学科	7	1	1	1
獣医保健看護学科	4	16	16	8
獣医学科	13	79	79	21
計	75	184	184	91

入学者納入金

入学者納入金は下表のとおりを予定しています。出願前に改めて募集要項でご確認ください。
入学金を除く授業料等の納入金は原則として2年次以降卒業年次まで、入学年度と同額です。

入学時納入金の納入方法について

本学部に合格し、入学時を行う場合は、入学時期限内に所定の納入金を一括して振り込んでください。ただし、一般選抜A個別方式第1期・N全学統一方式第1期については、他大学または日本大学の他学部・短期大学部(学科)を併願している場合、入学時期限内に入学申込金(入学金相当額)を納入することにより、入学時を延期することもできます。この手続を二段階手続といいます。

入学者納入金 (予定)

(単位:円)

学科	納入区分	入学金	授業料	実験実習料	施設設備資金	後援会費	校友会費(準会員)	合計
バイオサイエンス学科								
動物学科	入学金及び前期学費 (入学時納入)	260,000	525,000	75,000	100,000	15,000	10,000	985,000
海洋生物学科								
森林学科								
環境学科								
アグリサイエンス学科								
食品開発学科	後期学費 (納入期限9月)	—	525,000	75,000	100,000	15,000	—	715,000
獣医保健看護学科								
食品ビジネス学科	入学金及び前期学費 (入学時納入)	260,000	425,000	50,000	85,000	15,000	10,000	845,000
国際共生学科	後期学費 (納入期限9月)	—	425,000	50,000	85,000	15,000	—	575,000
獣医学科	入学金及び前期学費 (入学時納入)	260,000	750,000	150,000	175,000	15,000	10,000	1,360,000
	後期学費 (納入期限9月)	—	750,000	150,000	175,000	15,000	—	1,090,000

学部オリジナル動画、公開中!

地球の未来を見つめて、 ずっと前から、SDGsな学部です。

2030年までの達成をめざし、世界中で取り組みが進められている持続可能な開発目標が「SDGs」です。

日本大学生物資源科学部は、このSDGsに先駆けて、

持続可能な社会を実現するための活動を、学部を挙げて展開。

その多彩な取り組みを、楽しく紹介する動画も公開していますので、

ぜひ、学部ガイドブックと併せてお楽しみください!

動画はこちらから

デバイスによっては、
読み取れない場合がございます。



入学者選抜に関する問い合わせ

生物資源科学部 入学センター

TEL 0466-84-3812(直通) E-mail brs.nyuushi@nihon-u.ac.jp

日本大学生物資源科学部

NIHON UNIVERSITY College of Bioresource Sciences